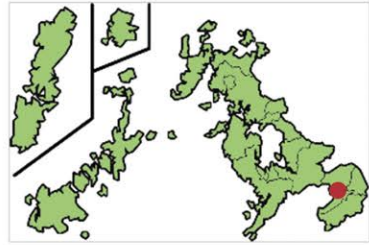


一般県道雲仙千々石線 道路防災事業



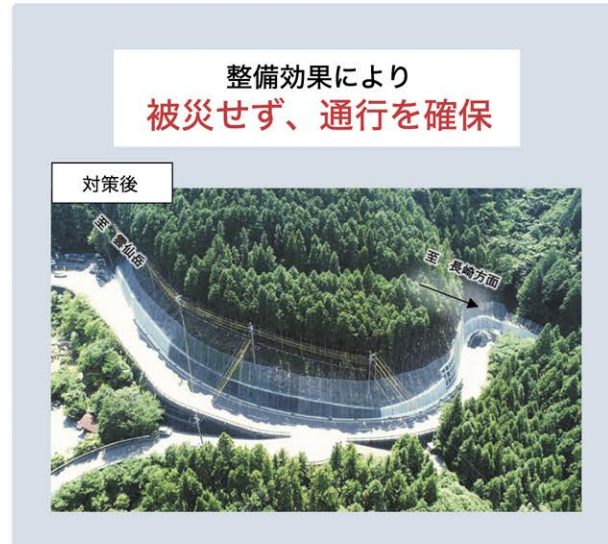
- 一般県道雲仙千々石線は長崎市から観光地 雲仙岳への最短ルート
- 3か年緊急対策により**法面等の対策を前倒しで実施**
- 令和3年8月の豪雨では、**国道57号(片側交互通行規制)や雲仙温泉街周辺が被災しましたが、当路線は被災を受けず、雲仙温泉街までのアクセスを確保できました**



国道57号被災(片側交互規制)



雲仙の土砂崩れ(令和3年8月)

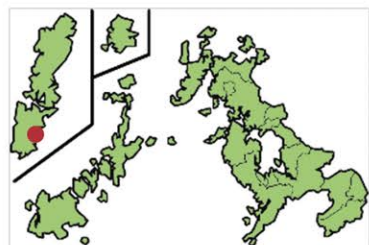


整備効果により
被災せず、通行を確保

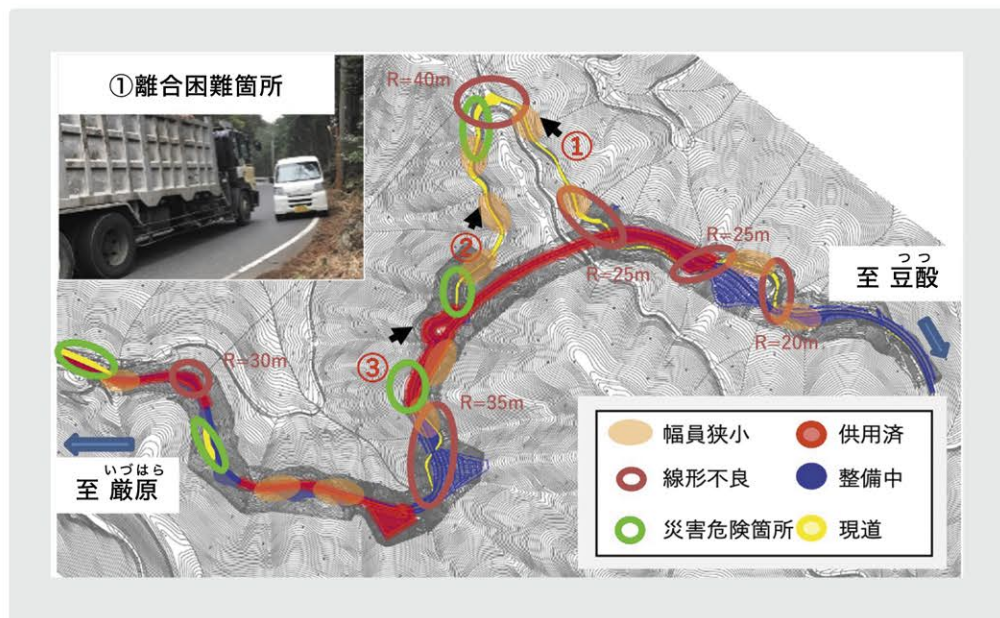


対策後

主要地方道厳原豆敷美津島線(尾浦～安神工区) 道路改良事業



- 本路線は、緊急輸送道路に指定されていますが、幅員狭小、線形不良箇所及び災害危険箇所が多数存在し、緊急時の通行に支障をきたすため、平成27年度から道路改良事業を実施しています。
- 国土強靱化対策予算により**トンネル工事や道路拡幅等を前倒しで実施できたことで、離合困難箇所及び災害危険箇所の解消や線形改良による走行性改善などの事業効果を早期に発現**することができました。



①離合困難箇所



②整備前

③整備後

特集
02

国土強靱化対策の成果

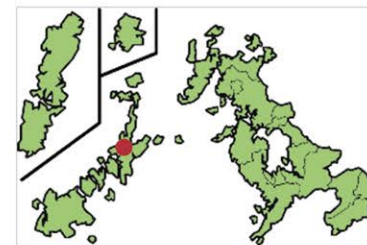


国土強靱化を推進するため、3年間集中で緊急を要する対策を進める「3か年緊急対策」(平成30年度～令和2年度)及び5か年で取組の更なる加速化・深化を図る「5か年加速化対策」(令和3年度～7年度)として、国から通常予算と別に予算措置がなされています。

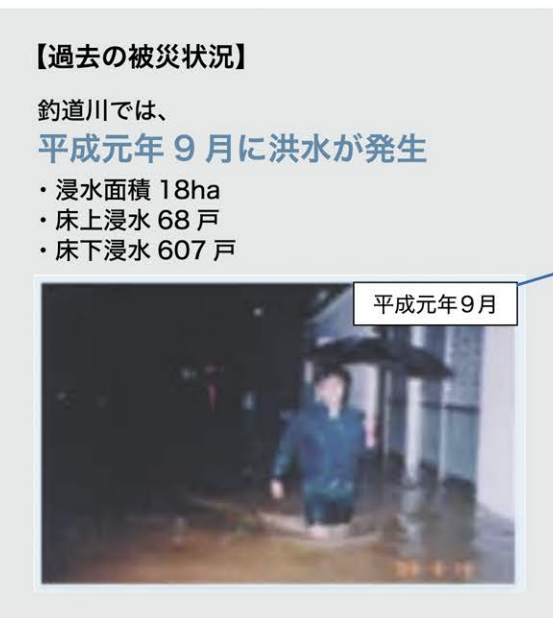
これを活用し、長崎県では、県内各地で様々な対策を行い強靱な県土づくりを進めています。

その効果の一部をご紹介します。

二級河川釣道川 河川改修事業



- 新上五島町の釣道川水系釣道川では、平成元年9月に洪水が発生
- 国土強靱化対策予算により**河道拡幅や橋梁架替等の河川改修を前倒しで実施できたことで、令和元年7月豪雨では平成元年度と同規模程度の雨量でしたが、河川の氾濫を防ぐことができました。**

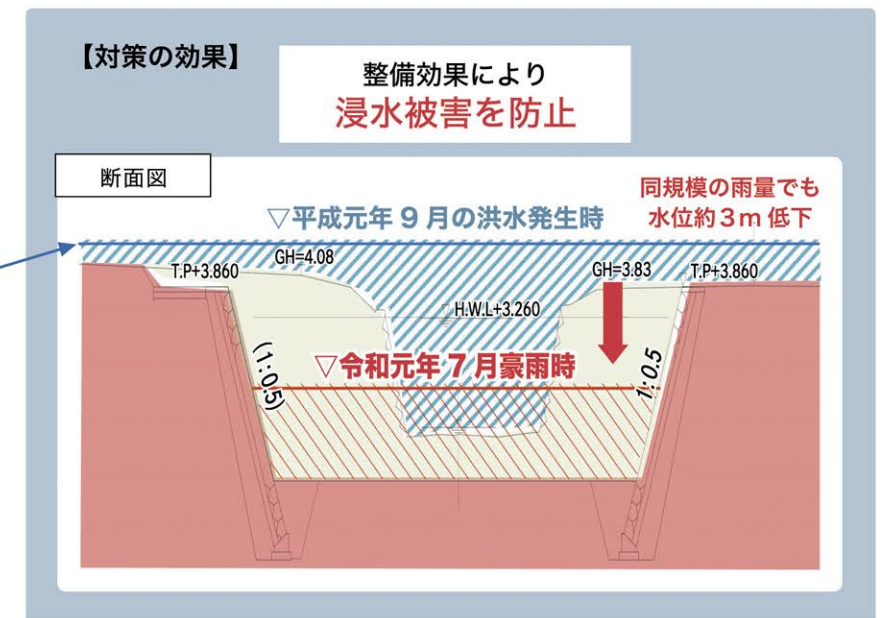


【過去の被災状況】

釣道川では、**平成元年9月に洪水が発生**

- ・浸水面積 18ha
- ・床上浸水 68戸
- ・床下浸水 607戸

平成元年9月



【対策の効果】

整備効果により
浸水被害を防止

断面図

同規模の雨量でも
水位約3m低下

▽平成元年9月の洪水発生時

GH=4.08

H.W.L.+3.260

GH=3.83

▽令和元年7月豪雨時

T.P.+3.860

T.P.+3.860

(1:0.5)

T.P.+3.860

T.P.+3.860

T.P.+3.860

T.P.+3.860

T.P.+3.860

T.P.+3.860